

令和5年度 事業計画について

【目的及び方針】

一般財団法人 熊本県スポーツ振興事業団(以下「事業団」という。)は、「熊本県民総合運動公園」、「熊本県立総合体育館」、「藤崎台県営野球場」、「熊本県総合射撃場」及び「熊本県営八代運動公園」の管理を、県民ニーズを的確に把握し、効率的な管理を図りながら、より質の高いサービスの提供と利用者の拡大に努めるとともに、これらの県有スポーツ施設が持つ施設機能を十分に発揮させ、「県民のだれもが」「いつでも」スポーツに親しめる機会の充実に努め、県全域のスポーツ振興に寄与していく。

また、バドミントンの国際大会「熊本マスタースジャパン」を始めとした大規模大会については、熊本県及び競技団体等が実施する関係事業等への協力体制を構築する。

【事業体系】

事業団が行う事業は大きく2つの体系に分類される。

- 1 スポーツ・健康振興事業
- 2 施設の管理運営事業

【事業概要】

1 スポーツ・健康振興事業

県民のスポーツ活動を支援していくための「県全域のスポーツ振興」と健康増進を支援していくための「県民の健康体力づくり」の各種事業を展開する。併せて、適切なコロナ感染対策を講じて事業を展開する。

(1) 県全域のスポーツ振興

ア スポーツ指導者・技術者派遣

自治体、スポーツ推進委員協議会、総合型地域スポーツクラブ、企業、競技団体などが実施するスポーツ教室に、指導資格、実績を有する職員を指導者として派遣する。また、各自治体の施設管理者から委託を受け、スポーツ教室・イベント等の開催、競技用コートライン敷設などの運営サポート等を行う。

イ スポーツ指導者養成講習会

指導者向けに理論と効果的な実践方法の紹介、スポーツ現場で起こるアクシデントやケガの予防法、対処法などを講習する。

◆中高年の健康体力づくり指導者講習会 ◆日本赤十字社水上安全法救助員養成講習会

ウ 県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」

県民スポーツの日の「ふれあいスポーツ」を、県教育委員会と共催する。

(2) 県民の健康体づくり支援

ア 特定保健指導事業

管理施設やグループのマンパワーを活かし、特定保健指導対象者への健康づくり、栄養、スポーツ指導を行う。

イ 医療連携事業

医療機関と連携し、医師の指示のもと生活習慣病患者等への症状改善や健康づくりのための運動指導を行う。

ウ 介護予防事業

高齢者の健康づくり支援として、運動を中心とした介護予防事業に取り組む。

◆いきいきスポーツデイ など

エ 障がい者スポーツ活動支援

障がいのある方への楽しむスポーツ活動支援事業に取り組む。

◆パラスポーツフェスタくまもと ◆障がい者ビームライフル教室

◆知的障がいのある子供たちのためのバスケットボール教室 など

(3) 競技力向上支援

ア アスリートをはじめ、学校部活動や各競技団体に所属する強化選手に対して、トレーニング指導、栄養指導等を行う。

イ ミズノが開発したランニングフォーム診断システムの導入により、一般ランナーから競技ランナーまでの技術向上をサポートする。

ウ 小学生から一般までを対象に、陸上記録会を主宰し競技力向上に寄与する大会を開催する。**NEW!**

(4) KSPA・MIZUNO スポーツプログラム

ア KSPA・MIZUNO スポーツ教室プログラム

好きなプログラムを、誰もがいつでも参加できる、通年型のスポーツ教室を開催する。

イ 無料体験教室

春と秋に無料体験教室を開催する。

ウ KSPA・MIZUNO スポーツ教室・講座

子どもから中高年者を対象に、知識や技術の習得を目的とした短期集中型の教室を開催する。

◆タグラグビー教室 **NEW!**

◆火の国サラマンダーズ野球教室

◆はじめて競技チャレンジ **NEW!**

◆クロストレーニングクラブ **NEW!** など

エ KSPA・MIZUNO カップ

各競技大会、交流大会を開催する。

◆小学生ハンドボール大会

◆グラウンドゴルフ大会

◆KSPA ミズノ卓球大会 **NEW!**

◆ゆるゆるバイアスロン **NEW!** など

オ 子育て支援

子育て中の方々が気軽に運動に参加できるよう託児サービスを実施する。

カ 測定サービス

超音波内蔵脂肪測定プログラムにより、効果的な運動への動機付けをサポートする。

また、ランニングフォームを三次元動作解析により、結果と改善のアドバイスを行う。

◆お腹 de 生活習慣 CHECK

◆ランニング「F. O. R. M.」診断

(5) **その他 新たな事業等 NEW!**

施設機能を活用した各種イベント事業を主催等により実施する。

- ア 射撃場においてクレ射撃のスキート・トラップ競技大会を主催し、射撃場において競技ルールに特化したイベントを開催
- イ 八代運動公園において八代ディスタンスチャレンジシリーズとして、10 km、20 km、30 kmのマラソン練習会を開催

(6) **運営事業 NEW!**

施設効用を最大限に発揮することができるよう、運営事業を行う。

ア **パークドームトレーニングジム運営（高校生以上）**

令和4年12月にトレーニングジムの機器を更新。コンディショニングマシンを中心に「整える」身体づくり、健康体力づくりに取り組むことができるジムへとリニューアル。

イ **ガンバリーフィットネスクラブ運営（高校生以上）**

運動公園パークドーム及び総合体育館の2施設において実施していたトレーニングジム及びプールの会員制を、新たに運動公園陸上競技場の地下トレーニング室も加えて拡充。

2 施設の管理運営事業

私たち事業団は、美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス株式会社の3社により、本県スポーツ振興の中核施設である各施設を、関係条例や法令を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、3社の長を最大限に発揮した魅力ある施設づくりを行う。

[令和5年1月現在]

管理受託施設	令和5年度 受託契約金額(年額)	令和4年度 受託契約金額(年額)
熊本県民総合運動公園	461,600千円	473,490千円
熊本県立総合体育館	147,700千円	147,700千円
藤崎台県営野球場	40,700千円	40,700千円
熊本県総合射撃場	40,000千円	40,000千円
熊本県営八代運動公園	79,200千円	79,200千円
受託契約金額合計	769,200千円	776,900千円

※県民総合運動公園のR4年度増額分は以下のとおり

- ・運動公園アクセス改善対策実証事業費 4,180千円、R5年度についても増額予定
- ・台風14号による倒木等処理費用 7,710千円

その他 指定管理施設	令和5年度 受託契約金額(年額)	令和4年度 受託契約金額(年額)
水俣広域公園(エコパーク水俣スポーツ事業)	5,000千円(予定)	5,000千円
益城町保健福祉センター(トレーニングジム運営)	5,800千円(予定)	4,750千円

(1) 利用者対応

整備された各種マニュアルにより、全ての職員が県民の公平・平等な利用を確保し、適切なサービスを提供する。令和5年度の利用者数及び利用料金収入の目標は次のとおりです。

管理施設	有料施設利用者数(人)		利用料金収入(千円)	
	令和5年度	令和4年度見込	令和5年度	令和4年度見込
熊本県民総合運動公園	90.0万人	53.3万人	147,800千円	129,700千円
熊本県立総合体育館	29.0万人	25.2万人	72,000千円	70,200千円
藤崎台県営野球場	11.0万人	10.1万人	13,540千円	14,300千円
熊本県総合射撃場	6.8千人	6.2千人	12,650千円	14,500千円
熊本県営八代運動公園	8.1千人	7.8千人	5,150千円	6,000千円

ア 個人情報

個人情報の保護に関して様々な体制をグループ内で構築し、条例等を遵守した適切な対応を行う。

イ 各窓口での対応

利用受付・許可をはじめ、施設の情報提供や利用相談など、日常的に対応を行う。
また、障がい者や外国人など多様化する利用者への対応体制を整備する。

ウ 公共施設予約管理システムの管理・運用

公共施設予約管理システムを効果的に運用し、施設情報提供や予約受付を行う。

エ 年間予約の調整

令和6年度に開催される主要大会等の年間予約については、関係団体の意向調査を行い令和6年2月末までに調整会議を経て県教育委員会と協議し、調整を完了する。

オ 利用料の減免

条例及び県教育委員会が認める大会等については、規定に従い減免を実施する。また、必要に応じて指定管理者独自に利用料の減免を実施する。

カ 利用料金収納事務

毎月の収入・利用実績は、翌月10日までに県に報告する。

キ 利用者モニタリング

「メッセージポスト」設置、「利用団体との意見交換会」開催や「利用者モニタリング」の実施など様々な手法により利用者の意見・要望の収集を行い、対策を講じる。

ク 事故対応

全職員へ「事故対応マニュアル」の徹底と応急救命処置の研修を実施する。

また、AEDをはじめ、救急救命や応急処置に必要な機器・用具を各施設・各窓口に整備するとともに、各種保険に加入し万全の補償体制をとる。

(2) 利用者拡大の取組

施設機能を最大限に発揮させ、利用者や各団体等との信頼関係を深め利用促進を図る。

ア 情報提供

ホームページや季刊誌、SNS等による広域的な情報提供と、施設・設備を活用した施設内での情報提供、さらにマスメディアを活用したパブリシティによる情報提供を行う。

また、施設内では新たにデジタルサイネージを活用し各種情報を発信する。

イ 利用機会の拡大

繁忙期の利用日の拡大、施設機能の活用による利用時間の拡大を行う。また、大会・イベントでは、営業日・営業時間外も柔軟に対応する。

ウ 大規模大会・イベント・キャンプの誘致

関係機関・団体等との連携強化を図り、大会・イベント・キャンプの誘致に努める。

エ 会社厚生事業の施設利用促進

企業等の福利厚生事業での施設利用を促進する。

(3) 地域、関係団体、ボランティア団体等との連携・協働

県教育委員会、スポーツ協会、各競技団体、スポーツ推進委員協議会、総合型地域スポーツクラブ等、各団体が持つ知識や経験を活かし、連携・協働して事業を展開する。

- ◆ミズノ（株）と連携し、少年野球全国大会を開催
- ◆熊本県障害者スポーツ・文化協会と連携した共催大会を実施
- ◆熊本県ラグビーフットボール協会と連携し「RWC 記念大会、タグラグビー教室」を実施
- ◆熊本県ハンドボール協会と連携し、「女子ハンドボール世界選手権 記念大会」を実施
- ◆動物愛護ボランティアと連携・協力した地域ネコ活動 **NEW!**
- ◆地元農業高校との連携による園内花壇の整備 **NEW!**
- ◆「シェアサイクル実証実験事業」へ施設駐輪場貸出による協力 **NEW!**

(4) サービスの向上 **業務拡充**

利用者とのコミュニケーションを大切にし、意見・要望を取り入れたサービス改善に取り組み利用者満足の向上に努める。

ア 各種委員会等による運営体制の構築

各種委員会及びプロジェクトチームを設置し、新たなサービス提供や利用者の声を反映させた施設運営を行う。

イ 利用者主体のサービス提供

利用者モニタリング結果をもとに、「利用者第一」の精神で改善に取り組む。

ウ きめ細やかなサポート

大会等の運営サポート、一般利用者への相談・指導と施設利用サポートを行う。

エ 利便性の向上

利用手続きの簡素化や施設を十分に活用して頂くために、スポーツ用品のレンタルなど様々なサービスを付加する。また、AI 通訳機を導入し外国人への対応を円滑に行う。

オ 癒しと快適な施設提供

利用者が安らぎ、くつろげる施設整備を行う。

カ ユニバーサルデザインの推進

「ユニバーサルデザイン振興指針」に基づいた施設づくりを行う。

(5) 施設・設備の維持管理

安全・安心して利用できる快適な環境を提供する。

ア 管理体制

専門資格を持った職員や経験豊富な人材を配置し、適切な管理運営を行う。

イ 保守管理

目視、動作確認等の日常点検を行う。また、法定点検など専門性の高い定期保守点検を実施する。

ウ 修繕・改修

利用者のリスクとなるものは速やかに実施し、大規模な修繕が必要となるものは、安全対策と応急処置を行い、損傷の状況、費用、設計図書等の資料を速やかに県に報告する。また、緊急を要する簡易的な修繕等は事業団が負担し実施する。

エ トレーニングジムの管理

目視、動作確認等の日常点検を行う。また、不良個所の早期発見・早期整備により利用者の安全を確保する。

オ 室内温水プールの管理

文部科学省・国土交通省が定めるプール安全指針に基づいた、安全点検・水質管理を徹底する。

カ 植栽の維持管理

植物の生育状況及び景観に配慮した管理と災害予防の視点での管理を行う。

キ 備品の管理

県貸与備品は熊本県物品取扱規則の規定に従い管理する。また、事業団備品は事務規定に従い適切に管理する。

(6) 施設の衛生管理

ア 清掃

日常清掃、定期清掃、特別清掃により清潔な施設を維持する。

イ 廃棄物処理業務

廃棄物処理に関する法に基づき適正に処理を行う。

ウ ウイルス性感染症対策・対応

マニュアルに沿った感染症リスク対策及び対応を徹底する。(新型コロナウイルス感染対策マニュアルは随時更新)

(7) 安全管理及び体制

リスクマネジメント方針に基づいたあらゆるリスクに対応する体制を整え、安全・安心な管理体制を構築する。また、事故等の発生に備え、「施設賠償責任保険」等に加入し万全な保障体制を確保する。

◆機器メンテナンスライセンスの取得

◆利用者及び職員の熱中症事故防止における対策

◆安全衛生推進者の選任・配置による労働に関する安全及び衛生の教育

[各種保険加入体制]

・施設賠償責任保険 ・スポーツ災害補償保険 ・行事参加者傷害保険、

・レジャー・サービス施設費用保険 ・個人情報漏えい保険

(8) 環境に留意した管理・運営

「SDG s」の目標達成に向けた取り組みのひとつとして、環境省エコアクション 21 の方針に準じた「省エネ・省資源」「ゴミの減量化」「リサイクル」など、環境に配慮した取り組みを推進する。(令和 3 年 8 月に「熊本県 SDG s」登録事業者認定)

◆再生紙トイレットペーパー使用

◆テニスボールの再利用

◆落ち葉を腐葉土として活用

◆シェアサイクルサービスへの協力 など

(9) 職員研修

利用者サービス向上及びグループ職員の資質向上のため、「一般研修」、「階層別研修」、「専門研修」を実施する。また、業務に必要な資格については、資格取得を促すとともに、自己研鑽のための受講料の一部助成「研修助成」も行う。

(10) 各施設機能を活かした事業

各施設が持つ施設機能を活用した様々な事業を実施する。

◆県民総合運動公園陸上競技場、県立総合体育館、藤崎台県営野球場等での記念写真撮影の促進(結婚式・成人式等)

◆運動公園神園山の竹材を活用したミニ門松づくり教室

◆四季折々の癒しの空間提供(春は桜、秋は紅葉のライトアップ等)

◆藤崎台野球場での星空観賞会開催

◆八代公園フェスティバル(フリーマーケット、地産品マルシェ、キッチンサービス等)

◆クレー射撃シューティングシミュレーターを導入 **NEW!** など

※上記事業の詳細は、各施設の令和 5 年度事業計画に記載

(11) 広告事業

熊本県広告活用事業実施要綱に基づき、広告掲示等の管理を行う。

[令和5年1月現在]

施設名	令和5年度 掲出企業数	令和4年度 掲出企業数
熊本県民総合運動公園 陸上競技場	18社	16社
熊本県民総合運動公園 パークドーム	2社	1社
熊本県立総合体育館	16社	14社
藤崎台県営野球場	35社	33社
熊本県営八代運動公園	14社	14社
合計掲出企業	85社	78社

(12) 自動販売機等管理事業

利用者の利便性向上を図るため、飲料水等の自動販売機を設置する。

[令和5年1月現在]

施設名	令和5年度 設置台数	令和4年度 設置台数
熊本県民総合運動公園 既設公園	38台	38台
熊本県民総合運動公園 陸上競技場	9台	9台
熊本県民総合運動公園 パークドーム	25台	25台
熊本県立総合体育館	4台	4台
藤崎台県営野球場	4台	4台
熊本県総合射撃場	3台	1台
熊本県営八代運動公園	13台	14台
合計設置台数	96台	95台

(13) 物品販売事業

利用者の利便性向上を図るため、スポーツ用品等を販売する。